

## 平成21年度 財団法人静岡県国際交流協会 事業報告書

世界的な経済不況が継続し本県主要産業も深刻な経営不振に陥る中、新しい政権、新しい静岡県知事が誕生した変化の年であった平成21年度においては、国・県の緊急経済対策に積極的に応じ、大量解雇に直面した南米日系人及びその家族に対する緊急支援策を展開したほか、危機的な協会財政状況に対応するため、事業及び管理全般にわたり効率的な執行に努め経費の削減に取り組んだ。

### (事業概要)

- 当初予算に計上された事業については、以下2事業の実施を中止した他は、計画通り実施した。
  - 国際交流等推進支援事業(自主事業)
  - 海外技術研修員受入事業(県委託事業)
- 国、県の経済対策である緊急雇用創出事業及び県依頼を受けて、当初予算計上事業に加えて以下の事業を実施した。
  - 留学生地域交流会等開催事業 459千円(県委託事業)
  - 多言語情報資料収集とインターネット上での提供 2,098千円(緊急雇用創出事業)
  - 外国籍住民支援事業(静岡県日本語支援アドバイザーの設置)  
2,012千円(緊急雇用創出事業)

### (財政概要)

- 当初予算においてはマウス13,674千円(補正予算マウス3,368千円)が計上されていた収支差額は、マウス77千円まで縮小し、当期の収支はほぼ均衡した。この結果22年度への繰越額は前年度とほぼ同額となった。
- 基本財産の運用については、ユーロ円債である欧州投資銀行(2億7千万円)及び利付国債(20年)3件(合計3億9千万円)を売却し、これに換えて利付国債(20年・3億6千万円)と東京電力社債(20年・3億円)を購入し、これにより海外金融債運用の不安を取り除くとともに年間運用益約20万円増という結果を得た。

### (事業実施概要)

#### 1 情報収集提供事業(5,375,606円)

国際理解・交流促進及び外国籍住民支援などに取り組むボランティア、団体、自治体、企業等に、参加、連携、協働の切掛けとなる情報を提供し支援した。

##### (1) 各種相談・照会の受付

外国籍住民からの生活相談や県民からの海外留学や国際交流事業などの照会を受け付け、情報・資料を提供し、アドバイスを行った。

##### (2) 情報紙(SIR Joy Press)の発行(毎月)年11回×4,000部

当協会の会員、県・市・町、県内の学校・図書館、県下の公民館、県内の市町国

際交流協会など、毎月800件の個人・団体に送付した。

### (3) 図書、ビデオ、国旗等の購入・貸出・閲覧

貸出実績 ビデオ51件、図書・国旗29件

### (4) ホームページの充実

平成21年度1ヶ月あたりの平均アクセス件数 5,925 件

平成21年度県緊急雇用創出事業を受けて、県内で製作される外国語情報を収集しデータベースを構築し、インターネットで提供するサービスを開始した。

## 2 交流活動推進事業

### (1) 多文化共生情報ネットワーク構築事業【県委託事業】(1,496,145円)

市・町国際交流協会や、NPO・NGO等の関係団体との連携・協力の強化を目的とし、情報交換及び研修機能の充実及び職員・関係者の資質向上を図るとともに多文化共生による地域づくりを促進した。

- 静岡県外国籍住民相談員連絡会の開催 2回
- ホームページによる情報提供

団体へのヒアリング及び訪問を実施し、新規団体の掲載及び既存団体のデータを逐次更新した。

### (2) 国際理解を内容とする語学講座(キッズ英会話)事業(1,467,628円)

幼児期から英語及び外国文化への接触の機会を求める県民に対し、幼稚園生、小学生を対象に、外国人講師を交えた講師陣による英会話教室を開催した。

- 会場 静岡県観光・国際交流センター共用会議室
- 講師 外国人講師(ネイティブ)と日本人講師(静岡児童英語研究会所属)
- 受講者
  - 年中～年長 5人 5,000円(月謝)
  - 小学生1～3年生 10人 5,000円(月謝)
  - 小学生3～6年生 12人 5,000円(月謝)
- 期間 4月から3月の1年間 月4回開催

### (3) 文書の翻訳

文書の翻訳により、交流活動を支援した。実績：4件

### (4) その他の事業

- 学外実習(インターシップ)の受入事業
  - 静岡県立大学 国際関係学部国際言語文化学科 1名
  - 静岡文化芸術大学 文化施策学部 国際文化学科 1名

## 3 企画推進事業

国際理解・交流促進、外国籍住民支援を支えるボランティア、団体、学生、留学生、自治体、企業等に、連携や協働、参加の機会を提供・提案し、またより深い理解と高度な

活動能力を養うための自己研鑽を支援した。

#### (1) 高校生国際教育セミナー (1,183,846円)

県内高校生と留学生や技術研修員等を含む外国籍青年が2泊3日のプログラムを通し、多文化共生社会や多様な文化の魅力について学んだ。グループ別ディスカッションを中心とし、外国籍青年による国別展示ブース、キャンプファイヤー等を行い、相互理解と交流を深めた。

- 主催 (財) 静岡県国際交流協会 静岡県高等学校国際教育研究会
- 共催 JICA中部 日本国際連合協会静岡県本部
- 日時 8月11日(火)～8月13日(木) 2泊3日
- 会場 静岡県立焼津青少年の家
- 参加者 高校生41名、外国籍青年37名、教員・スタッフ16名 計94名  
外国籍青年出身国内訳：カナダ1、フィンランド2、フィリピン1、中国7、ネパール2、ベトナム5、インドネシア7、スリランカ3、アメリカ1、アイスランド1、マレーシア1、ブラジル4、台湾2
- 内容 グループディスカッションと発表、青年海外協力隊OGによる講義、外国籍青年による母国文化紹介

#### (2) アース(明日)カレッジ開催【地域国際化協会施策支援特別対策事業】

(3,143,580円)

多文化共生・異文化理解・国際協力をテーマとし、参加型体験プログラムを通して、県民と共に学び、共に考える場となる「アース(明日)カレッジ」を、静岡県内において国際理解教育を推進している団体や実践者と連携・協働し開催した。

また、事前にファシリテーター養成講座を開催し、講師のレベルアップに努めた。

##### ① 国際理解教育ファシリテーター養成講座

- 会場 静岡市国際交流協会 第2会議室
- 日時 6月20日(土) 13:00～17:00
- 参加者 24名

##### ② アース(明日)カレッジ2009 開催

- 会場 男女共同参画センター 「あざれあ」
- 日時 平成21年11月28日(土) 10:00～17:00
- 講座数 全体会 及び 分科会 8講座
- 講師 プログラム実践者(学校教員、NPO法人、JICAの関係者等)
- 参加者 241名(静岡県の国際理解教育に関心のある一般・学校教員)

#### (3) 外国語通訳ボランティアバンク設置事業【県委託事業】 (1,997,352円)

各言語の外国語ボランティアの組織化と研修等によるスキルアップを行い、ボランティアの活用を図った。また、県や市町からの通訳・翻訳依頼を受け、ボランティアを紹介した。

- 登録数 876名(平成22年3月31日)

○ 実績 照会 8 件、ボランティア派遣実績 42名

○ 通訳のスキルアップのため研修会を実施

(西部研修会)

- 会場 浜松市多文化共生センター
- 日時 平成22年2月6日(土)
- 講師 ジョン ドゥモビッチ(浜松市ALT、通訳)
- 参加者 54名
- 内容 英語を使った国際理解教育ワークショップを行った。

(中部研修会)

- 会場 静岡市国際交流協会会議室
- 日時 平成22年3月6日(土)
- 講師 柴山 智帆(多文化共生センター 理事)
- 参加者 50名
- 内容 「災害時の外国人のニーズとボランティアに求められる役割」

(中部研修会)

- 会場 静岡労政会館ホール
- 日時 平成22年3月7日(日)
- 講師 馬越 恵美子(桜美林大学教授)
- 参加者 75名
- 内容 「異文化アプローチの英語学習」

○ ボランティアバンク通信の発行 3回

#### (4) ふじのくに親善大使事業【県委託事業】(1,158,412円)

県内に在住する外国人留学生20名に親善大使を委嘱した。委嘱後は学校や団体の国際交流事業を紹介し参加を斡旋するとともに、依頼者と留学生の仲介を行い、より有意義な国際交流活動となるよう活動を支援した。

- 委嘱者 20名 (バングラデシュ1、中国8、インドネシア4、韓国1、ネパール1、ミャンマー1、スリランカ2、ベトナム2)
- 親善大使の活動実績

区分	事業の分類	21年度大使活動数	元大使活動数
1	母国の事情を学校の授業で紹介する	16	8
2	母国の事情を地域社会で紹介する	24	17
3	県民との交流・コミュニケーションの補助	32	4
4	静岡県及び国際理解について知識を深める	21	6
5	国際協力へ寄与する		10
	計	93	45
	参加事業件数	138	
	参加者人数 延べ	248	70
	合計参加者人数 延べ	318	

(5) 空港活用異文化交流調査事業【新規 自主事業】(500,476円)

航空路で結ばれる都市間市民交流の促進と、静岡県内大学において勉学した元留学生の活躍の状況、留学に対する評価・意見を調査するため、韓国仁川市及びソウルにおいて市民交流の調整及び調査を行った。

①仁川市との市民交流調整

仁川市国際交流センターをカウンターパートとし、以下の市民交流を協議・調整した。

○静岡県地域女性団体連絡協議会の仁川市女性団体訪問(6月3日～6日)

○仁川市ガールスカウトの日本ガールスカウト連盟静岡県支部「ブラウニー・ジュニアVIVA

90!キャンプ(90周年記念事業)」への訪問(8月20日～22日)

○仁川市青少年の小山町訪問、富士山麓トレッキング、農業体験を通じた青少年交流(9月)

②元静岡県留学生の帰国後の状況や留学の評価、留学生の活用方策等について意見聴取・調査

韓国人参加者(4名)

- 元韓国人留学生 2008 県で研修 現在 AK 免税店勤務
- 元静岡大学大学院留学生 ふじのくに親善大使
- 元静岡大学学部留学生
- 元静岡大学大学院留学生 翻訳コンクール受賞者、ふじのくに親善大使

(6) 留学生地域交流会等開催事業【新規 県委託事業】(458,850円)

● 留学生・富士宮市民交流富士山トレッキングの実施

留学生憧れの的である富士山麓を舞台に、留学生、地元青年、市民が、紅葉が美しい富士山の自然探索、歴史探索を内容とするトレッキングを実施し、富士山への理解を深め、富士山を愛する地域市民との交流を深めた。

実施日 11月1日(日)、参加人数 45名

● 富士山の魅力を発信

外国青年が楽しむ富士山麓トレッキングの様子(写真、手記を利用)を、富士山トレッキングコースの紹介とともにパンフレットにまとめ、国内外留学生、県民等に向けて情報を発信した。

4 外国籍住民生活支援事業

(1) 多文化共生拠点センター運営事業【文化庁委嘱事業】(716,670円)

外国籍住民の集住地域において、地域ボランティアの協力を得て外国籍年少者を対象とした学習支援・母語支援活動を行い、子どもの学習意欲を増進させるとともに、学校へ行くことが楽しいと感じられるよう方向付けた。また、地域行事へ積極的に参画し、地域自治会や行政、外国籍保護者、ボランティアと連携を深め、多方面から子どもの成長支援を目指す活動を展開した。

○ 設置場所／富士見台まちづくりセンター(富士市富士見台1丁目100番地)

○ 実施日時／平成21年4月18日～平成22年3月13日 全28回

○ 活動内容

- 日本人ボランティアによる日本語指導や学校の宿題や勉強を教える学習支援
- 外国人ボランティアによる母語(ポルトガル語・スペイン語)支援
- 日本人及び外国人ボランティアによる交流活動(日本文化紹介、読み聞かせなど)
- 地域行事への参加や住民との交流会の開催

## (2) 外国人学校日本語指導【県委託事業】(3,824,310円)

日本語の学習環境が不十分な状況にある外国人の子供に対して、日常生活に必要な日本語能力を身に付けるため、ボランティア等を活用したモデル事業としてブラジル人学校へ日本語指導者の派遣を行った。

○対象者 学齢年齢に相当するブラジル人学校の児童・生徒

○指導内容 初歩的な日本語やひらがな、カタカナ、基本漢字、発話力

○活動日時及び対象

- 富士市 エスコラ フジ (1名派遣) 生徒数28人

4・5年生 11人 【月曜】11:30～12:20 【火曜】11:30～12:20

6年生 5人 【月曜】8:25～9:15 【火曜】8:25～9:15

7年生 7人 【月曜】9:20～10:10 【火曜】9:20～10:10

8・9年生 5人 【月曜】10:20～11:10 【火曜】10:20～11:10

- 菊川市 ヴィジ デ クリアンサII 生徒数37人

年中 3人 【火曜】8:00～9:00

年長 8人 【火曜】10:30～11:00

1年生 7人 【火曜】9:00～10:30

6,7年生 10人 【月曜】9:00～10:00

4,5年生 9人 【月曜】10:00～11:00

- 磐田市 エスコラ オブジエティボ デ イタチア ホザ (2名派遣) 33人

2年生 8人 【水曜】8:00～9:00

3年生 8人 【月曜】8:00～9:00

4・5年生 10人 【月曜】9:00～10:00

6・7年生 7人 【水曜】9:00～10:00

○効果等 ・生徒の日本語によるコミュニケーション力の向上

・日本語学習における意欲の増進

## (3) 日本語講師ボランティア養成事業【文化庁委嘱事業】(1,335,130円)

### ①「日本語教育支援の充実を目指した相互ネットワークづくり(県東部)」

「日本語学習者を支える相互ネットワークをどう構築・発展させるか」を重点テーマとし、関係機関と関係者が市町を超えた広域的相互ネットワークの可能性と日本語支援の充実について学んだ。全8回。

● 会場 三島市民活動センター

● 対象 東部地域在住で日本語支援をしているボランティア、多文化共生担当

行政職員、国際交流協会職員

- 参加者 27名

②「日本語教育とその周辺」（共催：静岡大学国際交流センター）

音声や敬語、第2言語習得理論等、日本語教育の関係領域について学んだ。

- 会場 静岡市産学交流センター7階 研修室 全5回
- 日時 10月10日～11月7日 毎週土曜日13：30～16：30
- 対象 日本語教育に関心のある方
- 参加者 35名

(4) 静岡県・日本語ボランティアセミナー2010「誰もが、いつでも、仲介者」の開催

（共催：静岡大学教育学部）【地域国際化協会施策支援特別対策事業】（390,484円）

県内の日本語ボランティア及び関係者が一同に会し、多文化共生社会における日本語教育支援の重要性や環境整備について考え、情報交換を図るとともに具体的な手法について学んだ。

- 会場 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」
- 日時 1月11日（月・祝）10：00～16：00

● 内 容

I パネルディスカッション「誰もが、いつでも、仲介者」

II 分科会A「南米日系人の青少年の教育と就労について～2006年11月より実施している夜間路上調査から見えてくるもの」

講師：津村公博氏（浜松学院大学）

分科会B「いろいろ公開！子どものための日本語授業ネタ」

講師：矢崎満夫氏（静岡大学）

分科会C「集まれ！日本語ボランティア～大情報交換会～」

講師：（財）静岡県国際交流協会

- 参加者 I シンポジウム200名  
II 分科会(分科会A62名 分科会B103名 分科会C80名)

(5) 外国籍住民支援7トバイザ-設置事業【県委託事業】（1,249,500円）

ポルトガル語、スペイン語の相談員を配置し、各種相談に対応した。相談件数363件

- 主要国別人数 ブラジル203、ペルー41、コロンビア15、日本18、ウグア16、アルゼンチン6、
- 主な相談件数 雇用・労働関係 68件、帰国支援金 63件、ビザ関係 52件、  
保険関係 22件、住宅関係 18件、領事館 18件、
- 出張相談会（平成21年度 計2回）
  - 実施日 平成22年1月7日  
内 容 外国人相談  
会 場 富士宮市役所
  - 実施日 平成22年1月14日  
内 容 相談会

会 場 富士市市役所

**(6) 外国籍学生等就職支援事業**

ホームページ上に外国籍学生等を人材として求める企業の情報を掲載し、外国籍学生の就職と、企業の国際的事業展開を支援した。

外国籍住民向け求人情報掲載企業数：9件

**(7) 「外国人のための生活ガイド『オレンジブック』」作成事業**

【地域国際化協会等先導的施策支援事業】(1,635,571円)

長期に渡り本県で暮らす外国籍住民が、日常生活にかかる必要な情報を入手し、より快適な生活を送るよう、自立支援の一環として外国人のための生活ガイド「オレンジブック」(日本語ルビつき)を作成した。本冊子は留学生が在籍する各大学、国際交流協会、市町の外国人登録窓口や生活相談担当窓口等へ配布した。

- 発行部数 4,000部
- 内 容 ①緊急のとき ②自然災害 ③在留資格等行政手続き ④住宅 ⑤労働 ⑥医療 ⑦教育 ⑧交通 ⑨出産・育児 ⑩福祉・年金 ⑪税金 ⑫相談窓口問合せ先一覧 等
- 言 語 日本語ルビつき
- 発行時期 平成22年1月

**(8) 緊急雇用創出事業【県委託事業】**

**①多言語情報資料収集とインターネットでの情報提供 (2,097,963円)**

インターネット・ホームページ・データベースに精通する情報専門家と多言語情報収集者を雇用し、県下で作成されている多言語情報の収集とデータベースへの蓄積、ホームページからの検索システムを構築し、インターネット上で誰もが多言語情報を検索できる多言語情報検索システムを構築した。

● **多言語情報の収集 (作業期間 平成21年11月30日～平成22年3月1日)**

県内に提供されている多言語情報をインターネットや聞き取り調査で確認し、資料(紙、データ)を収集した。

● **収集した情報の整理、体系化 (作業期間 平成22年1月4日～3月23日)**

収集した多言語情報を整理しファイリング。またインターネット上に、生活情報、緊急情報、行政情報など、利用者が快適に閲覧、収集できるようにレイアウトを検討した。

● **多言語情報のホームページ上での提供**

3月29日から、収集した多言語情報したデータを同協会のホームページ上に提供した。

※URL <http://www.sir.or.jp/foreigner/usefulinfo/index.html>

**②日本語支援アドバイザー設置事業(2,012,351円)**

資格を持つ日本語指導者を雇用し、地域において日本語指導に取り組むボランティア

ア、団体、自治体に対し、指導を行い、ノウハウ・資料を提供するとともに、指導者のための研修会を開催した。

- **地域で日本語指導を行うボランティア・団体に対する支援**

- ・電話等による地域の日本語教室からの各種相談への対応、助言
- ・相談対応 週5日（月曜日～金曜日）8：30～17：15
- ・相談場所 財団法人静岡県国際交流協会 事務所

- **日本語教室の開催「日本語指導者養成講座・基礎コース」**

- ・開催日程：1月30日～3月6日 毎週土曜日全5回
- ・会場：牧之原市
- ・受講者数：26名
- ・内容：教科書・教材の紹介、文型の導入と練習、教材を作ろう等

- **日本語学校現地調査**

## 5 国際協力事業

(1) 国際協力事業【県補助事業】(1,804,967円 内、補助金額1,400,000円)

① 在外静岡県人会への助成

ブラジル 700千円、アルゼンチン140千円、ペルー140千円、サンパウロ日伯援護協会70千円

アマゾン日伯援護協会70千円

② 在外県人高齢者表彰・優良海外移住者表彰

- 高齢者表彰

ブラジル連邦共和国11名、アルゼンチン共和国3名、アメリカ合衆国11名、カナダ2名を表彰。

- 優良海外移住者表彰

ブラジル連邦共和国3名 を表彰。

## 6 旅券センター事業

(1) 写真撮影業務

※旅券事務が市町村に移管されたことから、平成21年8月末業務を廃止した。

(2) 印紙・証紙販売業務

中部・西部の各旅券センターにおいて印紙・証紙を販売した。

パスポート用写真撮影2,731枚（単価1,500円）、コピーサービス 1,050円

絵はがきの販売 13,600円

※旅券事務の市町への移譲に伴い、中部・西部の売り捌き所を平成21年8月31日に廃止した。

◇その他の業務

本協会が事務局となり実施している他団体の事業

(1) 日本国際連合協会静岡県本部の事務局

(21年度事業)

外国語講座、国連英語検定、ポスター・作文コンテスト、高校生の主張コンクール等実施した。

(実績)

区 分	参 加 者 等	備 考
a. 外国語講座 英語	509名	東部207名・中部302名
ハンガール	144名	東部 72名・中部72名
ポルトガル語	19名	東部 19名
b. 国連英語検定	SAからEのまで6階級 合計 45名 (延べ人数) が受験	
c. ポスターコンテスト	小学生 12校 80点 中学生 35校 170点 高校生 6校 146点	
d. 中学生作文コンテスト	14校 30編	【全国の部】 銀賞 1名 佳作 1名
e. 高校生の主張コンクール	1校 2名	

(2) 静岡県海外移住家族会の事務局

(21年度事業)

- 機関紙「富士」を発行し会員及び在外県人会へ配付した。
- (財) 海外日系人協会の機関紙を会員へ配付した。
- 平成21年度 海外移住家族会関東甲信越静岡ブロック会議を開催した。
- (財) 海外日系人協会・総会、海外日系人大会へ出席した。